

重大製品事故（温水機器）

- 注1：被害区分 ① 死亡事故
 ② 重症病事故（治療期間30日以上を負傷・疾病）又は後遺症事故
 ③ 一酸化炭素中毒
 ④ 火災事故（消防が火災と確認）

（※表内の上段より、最新の事故情報から掲載するよう変更致しました。）

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式機種	ガス種		不燃防 の有無	被害区分 (注1)	事故内容	製品の使用期間	事故原因			対応	安全にお使いいただくために
				都市ガス	LPガス					内容	製品起因	誤使用・ 不注意 または 設置不備		
2012年1月4日	東京都	ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	④	火災	約20年	飲食店厨房にてダクト火災が発生した。消防は、機器内部に滞留した未燃ガスに引火した可能性を含め、現在調査中。		○ (消防で調査中)	継続監視	—
2011年9月15日	滋賀県	ガスふろがま (給湯付き)	FH-201AWD		○	無	④	火災	10年以上	火災現場に当該機器があった。消防は、使用者が浴室洗い場にガソリンを流しており、風呂場からの出火で放火やタバコの火などが原因である可能性も含め現在調査中。		○ (消防で調査中)	継続監視	—
2011年7月9日	新潟県	ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		有	④	火災	約10年	湯沸器室より出火が発生した。検証したところ、ガス通路部からの漏れはなく、湯沸器に問題はなかった。その後消防は、ガス栓からのガスの漏れであり、機器に起因するものではないとして調査終了した。		○ (機器に起因しない)	継続監視	—
2011年6月1日	神奈川県	ガス瞬間湯沸器	PH-24号A	○		無	④	火災	14年	飲食店厨房にて火災が発生した。現場に当該機器があった。機器のガス通路に漏れはなかった。消防と合同検証した結果、当該機器に問題はなく使用者のお手入れ不足による油の付着により、湯沸器上部に溜まった油が発火したことが原因として調査終了した。	○		消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年4月16日	東京都	ガス瞬間湯沸器	PH-161M(5)	○		無	④	火災	不明	レストランの厨房で当該機器を使用中、炎が出た。消防は、フード内に溜まった油が機器内部に流れ、熱によって発火したと考えており、機器に起因しないと判断した。	○		消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年4月2日	山口県	ガス瞬間湯沸器	PH-20SX		○	無	④	火災	不明	当該機器下のゴミ箱付近から出火し、壁の一部が焼けた。当該機器のガス通路の気密を確認したが漏れはなかった。消防及びnitelは、当該機器内部からの発火の痕跡は見られず、給湯器より火災が発生したのではないとして調査終了した。	○		消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年3月4日	東京都	ガス瞬間湯沸器	PH-24A(40)	○		無	④	火災	不明	デパートの店舗の厨房で当該機器を使用中、ダクトと天井の隙間から出火した。消防は、機器の欠陥等によるものではなく、使用環境や経年劣化の影響を受けてのもので、機器に起因しないと判断し調査終了した。	○		消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—

2011年2月26日	北海道	ガス瞬間湯沸器	PH-16CBF		○	無	④	火災	21年	使用者が当該機器を使用中、本体後方より煙が発生した小火があった。ガス事業者からの依頼により弊社にて調査した結果、長年の使用により多量の埃やスス詰まりが生じ、燃焼不良の状態となり、その状態で使用を続けたことでさらに燃焼不良が進行したものと推察した。	○		消防の見解により経年使用が原因であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年2月17日	北海道	ガス瞬間湯沸器	PH-16CWFL		○	無	③	CO中毒	17年	給湯器を使用中、浴室及び脱衣場にいた2名が具合が悪くなり救急搬送された。警察は、器具起因しないとし、これ以上の調査はしないとされた。LPガス協会と弊社の調査結果、基準に合致しない、排気ダクトを使用したことでダクトが腐食したことに加え、17年の経年使用により熱交換部分の詰りにより不完全燃焼が発生し排気ガスが室内に溢れたものとみて調査終了した。	○		消防の見解により経年使用が原因であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年2月13日	北海道	ガス瞬間湯沸器	PH-5FS		○	有	④	火災	2年	使用者が当該機器を点火しようとしたところ、何らかの理由で漏洩したガスに引火して火災となった。消防は、器具の内観外観の損傷状態より、器具外の下方向から炎があがったものと推測し、機器に起因しないと判断し調査終了した。	○		消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年2月5日	広島県	ガス瞬間湯沸器	PH-5-3AB		○	無	③	CO中毒	23年	使用者が当該機器を使用中に気分が悪くなり病院に搬送された。不燃防装置が搭載されていない約30年前に製造の湯沸器で、当該機器のフードが外され排気口を塞ぐように機器上部に乗せられていた。消防及びnitelにて検証した結果、当該機器に異常は無く、フードが外され機器上部に乗せられていたことで排気が閉塞されススが詰まり不完全燃焼が起きたとの見解であった。	○		消防の見解により使用者の不注意であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2011年1月17日	佐賀県	ガス瞬間湯沸器	PH-55A	○		有	④	火災	7年	使用者が当該機器を点火させたとき当該機器の周辺を焼く小火があった。当該機器にガスの漏えいなどは無く燃焼状態も異常は無かった。消防は、当該機器の不具合が原因ではなく、当該機器以外からのガス漏洩に当該機器の火が引火したとみて機器に起因しないと判断し調査終了した。	○		消防の見解により、機器以外からのガスの漏洩が原因であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—
2010年12月27日	京都府	ガス瞬間湯沸器	PH-20CW		○	無	④	火災		使用者宅で当該機器の上方に設置してある屋根の波板の一部が焦げた小火が発生した。14年～20年間ご使用と推測され、事故発生日数日前から器具の調子が悪かったとの話であり、現在原因を調査中。	○ (消防で調査中)		継続監視	—
2010年11月19日	長崎県	ガス瞬間湯沸器	PH-55B-1		○	有	④	火災	3日	当該製品を使用後その場を離れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品とガスホースとの接続部からガスの漏洩が確認された。消防は、当該機器に不備・欠陥は無かったとして調査終了した。	○		消防の見解により、ガスの接続不良が原因であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—

2010年9月2日	埼玉県	ガスふろがま (給湯付き)	FH-20AWD	○	無	②	火傷	14年	当該機器で子供がシャワーを浴びている時に突然高温になり火傷をした。器具に異常がないかを点検して欲しい、との依頼があり検証したところ、当該機器にエラー履歴も無く、異常燃焼などは無かった。使用14年という事もあり風呂釜側のポンプ循環のエラー履歴もあり、当該機器の買い替えをお勧めしたが、来年建替の予定と言う事で器具の買い替えは避けたいとの要望もあり、長期使用製品安全点検を実施の予定。	○ (機器に起因しない)	継続監視	—
2010年8月8日	愛知県	ガス瞬間湯沸器	PH-16CW(50)	○	無	④	火災	14年	厨房室の屋外に設置してある当該機器の前のゴミなどが燃える小火が発生した。消防は、当該機器に異常燃焼した跡がないことから、機器内部からの出火ではなく下方の火元からの延焼との見解で当該機器に起因しないと判断した。火元は特定出来ず原因不明として調査終了。	○ (機器に起因しない)	消防の見解により、機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例掲示。	詳細はこちら
2010年6月10日	宮城県	ガス瞬間湯沸器	PH-16CSF	○	無	④	火災	20年	当該機器を使用中に、当該機器の排気筒が壁部分を貫通する隙間から煙が出て、当該機器を取り付けている壁面が焦げた。当該機器は長時間使用において燃焼室部分の一部にひびなどが生じる事があった場合、過熱防止装置(温度ヒューズ)の作動がおくれ、機器の背板が過熱される事があるとして1991.3.23に「点検と温度ヒューズの追加取り付け作業のお願い」を告知した対象商品であったが、使用者からの点検依頼を弊社が受けておらず、当該機器の点検はされていなかった。	○	1991.3.23よりリコール中	—
2010年4月15日	岐阜県	ガス瞬間湯沸器	PH-16CWQFS	○	有	④	火災	不明	住宅を全焼する火災が発生し、火災現場に当該機器があった。消防は、当該機器の内部に発火及び異常燃焼の跡は見られなかったことなどから、出火原因に当該機器は関与しないとの見解で調査終了。	○ (機器に関与しない)	nite・消防と当社の検証結果及び、消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例掲載にて対応。	—
2010年4月9日	富山県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-24号A-1	○	無	④	火災	5年	当該機器を使用中に火が消えたため、繰返し再点火操作をしたところ、溢れ着火をした。消防によると、当該機器は点火確認のためののぞき窓の部品が2～3年前からなくなっており、また、使用者の誤った点火操作により、開放されたのぞき窓から炎が溢れた。操作時の不注意が原因との見解で調査終了。	○	消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2010年1月15日	京都府	ガス瞬間湯沸器	PH-16CW(50)	○	無	④	火災	約15年	屋外式の当該機器の排気口から炎が出た。消防は、経年使用と設置環境により埃等が付着し燃焼に影響を与えた事が原因として調査終了。	○	消防の見解により経年使用と設置不備が原因で、機器に起因しないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら

2010年1月3日	神奈川県	業務用ダクト直結型瞬間湯沸器	PH-161MD	○		無	④	火災	約9年	当該機器上部より炎が出て使用者が消火器で消火した。消防は、当該機器のまわりに付着している埃に当該機器の点火時の火が着火して油脂受皿溜まっていた油に引火したと推測し、使用者の日々のお手入れ不足等の使用上の不注意との見解で調査終了。	○		消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2009年12月21日	北海道	ガス瞬間湯沸器	PH-16CWQFS	○		有	③	1名軽症	不明	集合住宅で1名が気分が悪くなり病院に搬送された。現場に当該機器と石油FF暖房機があった。消防・ガス事業者で現場にて当該機器と石油FF暖房機のCO検知をしたが、いずれも基準値以下であった。使用者によると、当日は茶碗を洗うのに当該機器を2～3分使用したとの事。後日警察・消防で合同検証した結果、燃焼時のCO濃度は基準値以下であり、排気トップを閉塞した状態での燃焼検証では安全装置が正常に作動し燃焼停止した。警察は、機器の使用時間も短く機器に起因しないと調査終了した。	○ (機器に起因しない)		警察・消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社ホームページに事例掲載にて対応。	—
2009年12月19日	埼玉県	ガス瞬間湯沸器	PH-161M	○		無	④	火災	約13年	当該機器を使用中に当該機器の上方のダクトの一部が熱損した。警察・消防・弊社で現場検証をしたところ、当該機器はCF自然排気式湯沸器で排気の設備が必要だが、厨房の共用換気ダクトに排気筒の設備なしで設置されていた。消防・警察は、経年使用によりダクト・当該機器に付着した多量の油脂が落ちて発煙・発火したもので、清掃不備が原因との見解で調査終了。	○		消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2009年12月4日	千葉県	ガス瞬間湯沸器	PH-5TF	○		有	④	火災	不明	当該機器上方の樹脂製(エンビ)の水道配管が黒く変色していた。消防は、樹脂製水道管と当該機器に多量の油が付着していたことから、長年業務用で使用し堆積した油が炭化して発火したもので、使用者の不注意が原因との見解で調査終了。	○		消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2009年6月29日	東京都	ガス給湯暖房機	DH-N2412AWDL4-1	○		無	④	火災	1年7ヶ月	当該機器を使用中に機器上部排気筒付近から火が出た。警察、消防、ガス事業者及び弊社で現場検証をしたところ、当該機器にガス漏洩は無かった。また、機器内部に熱損等の跡は無いが、排気筒に焼けた跡があった。消防は、外的要因も考えられるが、原因不明として調査終了。	○ (外的要因も含め原因不明)		消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例掲載にて対応。	—
2009年6月3日	兵庫県	ガスふろがま(給湯付き)	FH-16AWD	○		無	②	火傷	12年	当該機器でシャワーを使用中、同時に洗面所で家人がお湯を使用し、止めた際に、急にシャワーが熱くなり火傷を負った。弊社で同状況にて再現テストをしたが、再現できなかった。	○ (再現できず)		当社の検証結果及び1年間継続監視を実施したが、同類事故の発生無く、多発の可能性がないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら

2009年6月2日	東京都	ガス瞬間湯沸器	PH-5BW	○		有	④	火災	13年	当該機器を使用中に、当該機器の上方に設置してある換気扇の紙フィルターの一部を熱損した。消防は、機器に異常はなく、連続点火時のあふれ着火と推測するが、再現できず。	設置環境	消防の見解により、機器に起因しないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。	—
2008年10月23日	東京都	屋外式給湯器	PH-20CW	○		無	④	火災	約13年	当該機器の排気口の前15cmに物干し竿が設置されており、その表面の樹脂が燃えた。消防は、13年使用の経年劣化により熱交換器の集熱フィンに燃焼生成物が徐々に堆積し熱交換器が塞がり燃焼不良になったのが原因として調査終了。尚、当該機器の排気口の前15cmに物干し竿が設置されている事は条例に適合しない。	○ (設置不備)	消防の見解により可燃物が設置基準に適合しない場所にあった事と、水漏れもあり経年劣化が要因であると判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2008年9月23日	大阪府	屋外式給湯器	FH-1600MS	○		無	②	火傷	20年	使用者が当該機器(約60℃の定温出湯型)でシャワーを浴びようと混合水栓の水栓を少し開けて湯栓を開いたところ、熱湯が下腹部から足にかけてかかり火傷を負った。弊社が現場で、湯栓のみを開いて出湯温度を確認したところ、最高温度は58℃であり熱湯がでることは再現できなかった。外部機関も同様の結果であった。	○ (機器に起因しない)	PLセンターの見解により機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2008年4月16日	京都府	屋外式湯沸器	PH-16CB	○		無	④	火災	約19年	当該機器を使用中に排気口から炎が出て、排気口の前側の金属製配水管の塗装の一部が焼損した。使用者は約半年前からお湯にならない不調を頻繁に感じており、事故当日は使用開始から事故発生までの約30分間に同現象が4回程度発生した。19年間経年使用により、燃焼生成物が熱交換器に除々に付着し、その状態が進行して約半年前からバーナーの炎が不安定となり、機器の燃焼が停止して、使用者がお湯にならない不調と感じたと推測する。更に、その状態でも使用を続けたため、排気通路が殆ど閉塞状態になり、煤が発生するまでに至り、当日は約30分間に4回も途中失火になる燃焼状態になったと推測する。尚、排気口から炎が出たことについては、立会調査時には検証していない。消防は、当該機器の経年劣化が原因との見解で調査終了。	○ (経年劣化)	経年劣化が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年8月1日	愛知県	開放式小型湯沸器	PIH-5SC (PH-5TF)	○		有	④	火災	不明	当該機器の上部より約5cm炎が上がり消火器で消火した。当該機器の外観は燃えた形跡は無かった。消防の調査結果は、故障による燃焼停止遅れの影響で、機器の排気フード部に溜まっていた油脂に引火したとの事。また、当該機器で再現テストをしたところ、安全装置が作動して燃焼停止した事を確認した。	○ (経年劣化、油脂汚れ)	経年劣化と清掃不備が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年4月18日	京都府	開放式小型湯沸器	PH-507B (PA-3100CF)	○		有	④	ポヤ	不明	湯沸器への接続ゴム管の亀裂部から漏れ出したガスにこんろの火が引火	○	消防の見解により、機器以外からのガスの漏洩があり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。	—

2007年3月27日	埼玉県	開放式小型湯沸器	PH-5TF	○	有	④	ボヤ	不明	湯沸器のフード部もしくはフィン部に樹脂系の異物が有り、器具燃焼時に引火したか油滴等に引火したものと推測	○	当該機器に不具合はなく、機器上方に樹脂があり、それが溶融したのが原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年3月18日	兵庫県	業務用ダクト直結型瞬間湯沸器	PH-161MD	○	無	④	ボヤ	9年	点火操作時、何らかの炎が油脂受け皿に堆積した油脂に引火した。油脂が多量に堆積した原因は、排気ダクト接続工事の不備であり、油滴が器具に落下する位置であったこと及び油煙発生する恐れがある設備が十分な離隔距離をとるあるいは、油脂が機器の給気口に流入しない措置が取られていなかった事と推定。	○	設置工事の不備が原因で製品に起因しないため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年3月7日	宮城県	業務用ダクト直結型瞬間湯沸器	PH-161MD	○	無	④	ボヤ	9年	油脂受け皿に堆積した油脂が発火した。消防は、コーラのシロップチューブとエアコンの配管とが接触した部分が炭化し、そこからダクトを伝って湯沸器内に入り徐々に炭化され発火したと推定。	○	機器は正常で火元が機器でないため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年3月6日	富山県	開放式小型湯沸器	PH-5TF	○	有	④	ボヤ	16年	湯沸器上部の換気扇に溜まった油が、湯沸器の熱により燃えた	○	当該機器に不具合はなく、上方の換気扇に油脂が付着しており、設置上の問題が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年3月2日	東京都	ガスふろがま(給湯付き)	FH-100AM	○	無	④	ボヤ	約20年	配線の焼損	○	機器の安全装置が作動して被害拡大の可能性がない、また、多発性もないと考え、弊社のホームページに事例掲示にて対応。	-
2007年2月12日	福岡県	半密閉式CF型ガス瞬間湯沸器	PH-12号A	○	無	③	1名CO中毒(軽症)	1年	排気設備の不具合に加え使用者の誤使用	○	排気設備の不具合による。弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら
2007年2月3日	新潟県	半密閉式CF型ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○	無	③	10名CO中毒(軽症)	4年	排気設備の不具合に加え使用者の誤使用	○	機器に起因するものではないため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。	詳細はこちら

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式機種	ガス種		不燃防 の有無	被害区分 (注1)	事故内容	製品の使用期間	事故原因				安全にお使いいただくために
				都市ガス	LPガス					内容	製品起因	誤使用	原因不明ま たは調査中	
2006年7月17日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○		無	①	1名CO中毒死亡 2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気ダクトファンを停止したまま湯沸器を 長時間使用)		○		—
2006年3月20日	秋田県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-20CWF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○		—
2005年11月28日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F	○		無	①	CO中毒 (1名死亡)	約23年	改造による安全装置不 작동			○	詳細はこちら
2005年6月24日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○		無	③	7名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (機器内部に大量の埃、ススが堆積し、給 排気設備である屋上ファンが作動していな かった)		○		—
2005年5月29日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CWF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○		—
2005年2月20日	大阪府	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気フードの屋外部に設置された防鳥網 が油等で目詰まり)		○		—
2005年2月10日	茨城県	開放式小型湯沸器	PH-5BW		○	有	④	ボヤ	製造年月より 推定、9年	湯沸器が未使用の状態外出			○	—
2004年9月11日	秋田県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (台風による排気筒倒壊)		○		—
2004年4月4日	新潟県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○		無	③	4名CO中毒	不明	排気設備の不具合		○		—
2004年2月29日	兵庫県	瞬間ガス湯沸器 (先止式)	PH-20CW		○	無	④	ボヤ	約8年3ヶ月	設置不備		○		詳細はこちら
2004年1月18日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気筒の断面積不足、立上不足等)		○		—
2003年12月31日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-8	○		無	①	1名CO中毒死亡	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気筒が無い状態で湯沸器を使用)		○		—
2003年9月4日	愛知県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	1名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気ダクトファンが故障したまま湯沸器を 長時間使用)		○		—
2003年4月2日	秋田県	開放式小型湯沸器	PH-5-3AB		○	無	①	CO中毒死 (1名死亡)	製造年月より 推定、20年	使用禁止になっていたにもかかわらず、 誤って使用したもの(新聞による)		○		—
2003年2月2日	兵庫県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-20KW(50)		○	無	④	ボヤ	約7年	設置不備		○		詳細はこちら
2002年11月22日	京都府	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-20CW	○		無	③	CO中毒	約8年	波板で囲われた換気窓のある室内に設置 による不備		○		詳細はこちら
2002年10月3日	千葉県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-161M	○		無	①	1名CO中毒死亡	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気フードファンを運転せずに湯沸器を 使用)		○		—
2002年7月19日	神奈川県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (使用禁止措置をとった器具をダクト換気 ファンを使用せずに使用)		○		—
2002年5月18日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (換気ファンの停止及び給気口の閉塞)		○		—
2002年3月8日	宮城県	瞬間ガス湯沸器 (先止式)	PH-20CW	○		無	④	棄損	約8年	設置不備・経年劣化		○		詳細はこちら
2002年1月23日	長崎県	開放式小型湯沸器	PH-4-2F		○	無	①	CO中毒死 (1名死亡)	製造年月より 22~24年	換気不良		○		—

2002年1月12日	新潟県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合(排気が外部に排出し にくい排気筒設備の構造であった)		○		—
2001年12月3日	沖縄県	開放式小型湯沸器	PH-5F	○		無	③	CO中毒	不明	湯沸器を締め切った室内で長時間使用		○		—
2001年1月4日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-131F	○		無	①	CO中毒 (2名死亡)	約19年	改造による安全装置不作動			○	詳細はこちら
2000年12月18日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○		—
2000年5月22日	福岡県	開放式小型湯沸器	PH-4F		○	無	①	CO中毒死 (2名死亡)	製造年月より 25~30年	湯沸器を浴室内に設置		○		—
2000年4月3日	佐賀県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-20KWQ4		○	無	③	CO中毒	約3ヶ月	屋外式4型排気延長管の排気筒設備不備		○		—
1999年12月20日	愛知県	開放式小型湯沸器	PH-5-3A		○	無	③	CO中毒	製造年月より 15~20年	湯沸器上部のフードが逆に取り付け、排気 が塞がれていた		○		—
1999年12月16日	千葉県	瞬間形ガス湯沸器(先 止式)	PH-16CS		○	無	④	ボヤ	約10年	燃焼室焼損		○		詳細はこちら
1999年12月9日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	約18年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し 使用		○		詳細はこちら
1999年10月25日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-10CEF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○		—
1999年8月3日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F		○	無	①	1名CO中毒死亡	不明	排気設備の不具合 (排気筒なし)		○		—
1999年1月12日	佐賀県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M		○	無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (湯沸器の排気筒がこんろのダクトにつな がっている状態で、ダクトのファンが回ってい ない)		○		—
1999年1月11日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	約17年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し 使用		○		詳細はこちら
1999年1月7日	千葉県	瞬間ガス湯沸器 (先止式)	PH-20CW		○	無	④	ボヤ	約7年	設置不備		○		詳細はこちら
1998年12月7日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF			無	①	CO中毒 (1名死亡)	不明	排気筒腐食による排気漏れ		○		—
1998年10月14日	鹿児島県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F		○	無	①	1名CO中毒死亡	不明	原因特定できず		○		—
1998年9月23日	宮崎県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号2		○	無	③	1名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気筒外れ及び換気扇故障)		○		—
1998年8月27日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-16号A		○	無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気フードのファンを回さずに湯沸器を使 用)		○		—
1998年6月25日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-6号F +PV-3G		○	無	③	CO中毒	不明	設置施工時の不具合 (配線間違い)		○		—
1998年6月22日	鹿児島県	開放式小型湯沸器	PH-5-3F		○	無	③	CO中毒	約16年	長期使用にともなう熱交換器の通気不良 および換気不良による		○		—
1998年5月25日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600SCFL		○	無	③	CO中毒	不明	給気フィルターの目詰まり。		○		—
1998年2月25日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PA-516Z(U) (PH-161M)		○	無	③	40名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気フードファンを回さずに湯沸器を使 用)		○		—
1997年8月30日	大阪府	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	①	CO中毒 (1名死亡)	約16年	改造による安全装置不作動			○	詳細はこちら

1997年7月19日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F	○		無	③	CO中毒	約16年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し使用		○	詳細はこちら
1997年6月11日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF		○	無	③	CO中毒	約10年	排気筒の継ぎ目接続不良		○	—
1997年5月15日	岡山県	開放式小型湯沸器	PH-5BW	○		有	④	ボヤ	製造年月より 推定、3ヶ月	湯沸器を使用していない状態で発火		○	—
1997年4月29日	福岡県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (部屋を閉め切り排気扇を作動させず、湯 沸器と食器洗浄機を同時に使用)		○	—
1997年4月23日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	③	CO中毒	約15年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し使用		○	詳細はこちら
1997年2月16日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-131M	○		無	③	1名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (換気扇故障のまま湯沸器等を使用)		○	—
1997年2月6日	山形県	開放式小型湯沸器	PH-5WF		○	有	④	ボヤ	製造年月より 推定、7ヶ月	機器外部とのガス接続部よりガス漏れ		○	—
1997年1月19日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F	○		無	③	CO中毒	約15年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し使用		○	詳細はこちら
1997年1月16日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	K-1600KMF	○		無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○	—
1996年11月18日	大阪府	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	4名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気ダクトファンの故障)		○	—
1996年10月27日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1001CMF		○	無	①	CO中毒 (2名死亡)	不明	排気筒の継ぎ目接続不良		○	—
1996年10月19日	岡山県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F		○	無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気筒なし)		○	—
1996年10月16日	石川県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CS	○		無	④	半焼	約7年	過熱防止器の取付間違い		○	詳細はこちら
1996年10月12日	東京都	開放式小型湯沸器	PH-5BM			不明	④	ボヤ	製造年月より 0~1年	ユーザーが取り付け工事を行い点火テスト 中に火が移った、工事不備		○	—
1996年6月24日	富山県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気筒の高さ不足)		○	—
1996年5月23日	山梨県	開放式小型湯沸器	PH-5TB		○	有	④	ボヤ	製造年月より 0~7年	器具の点火ボタンOFFで未使用状態であっ た、原因不明		○	—
1996年4月30日	福島県	開放式小型湯沸器	PH-5BW			不明	④	ボヤ	製造年月より 0~1年	機器の上部と天井との距離が十分に取れ ていなかった		○	—
1996年3月18日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F	○		無	①	CO中毒 (1名死亡)	約15年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1996年1月12日	岐阜県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PIC-160B (PH-81)	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (換気フードの換気扇を使用せずに湯沸器 を使用)		○	—
1995年11月19日	長野県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	③	CO中毒	約14年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1995年10月16日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-6号F +PV-3G		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○	—
1995年4月29日	栃木県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CS		○	無	④	半焼	約6年	燃焼室焼損		○	詳細はこちら
1995年4月16日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (室内換気扇のフィルター目詰まりによる換 気不良)		○	—

1995年4月11日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F		○	無	①	1名CO中毒死亡	不明	排気設備の不具合 (排気筒なし)		○			—
1995年2月17日	秋田県	ガスふろがま (給湯付き)	FH-1600MDF	不明		無	④	ボヤ	不明	燃焼室焼損		○			—
1995年2月16日	神奈川県	ガスふろがま (給湯付き)	FH-1600MD	不明		無	④	ボヤ	不明	燃焼室焼損		○			—
1995年2月14日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-102F	○		無	③	CO中毒	約11年	特定できず			○		詳細はこちら
1995年2月9日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF	○		無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○			詳細はこちら
1995年1月11日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	③	CO中毒	約13～14年	改造による安全装置不作動			○		詳細はこちら
1994年12月19日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CST	○		無	④	ボヤ	約5年	燃焼室焼損		○			詳細はこちら
1994年11月29日	秋田県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	③	CO中毒	約10年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し使用		○			詳細はこちら
1994年2月9日	神奈川県	開放式小型湯沸器	PH-5F	○		無	①	CO中毒死 (1名死亡)	不明	ユーザーがガス圧を調整し使用		○			—
1994年2月2日	秋田県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-131F	○		無	①	CO中毒 (2名死亡)	不明	改造による安全装置不作動			○		詳細はこちら
1994年2月1日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-131F	○		無	③	CO中毒	約8年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し使用		○			詳細はこちら
1994年1月14日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMFL	○		無	①	CO中毒 (1名死亡)	不明	排気設備の不具合		○			—
1993年12月31日	東京都	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-12号A	○		無	①	1名CO中毒死亡	不明	熱交換器がダストのようなもので閉塞され 排気ガスが排出されなかった。		○			—
1993年7月27日	福岡県	開放式小型湯沸器	PH-5-3F		○	無	①	CO中毒死 (1名死亡)	製造年月より 推定、13年	冷房のため窓締め切り使用、換気不良		○			—
1993年4月13日	宮城県	開放式小型湯沸器	PH-4F	○		無	①	CO中毒死 (2名死亡)	製造年月より 18～23年	使用禁止措置されている器具を開栓し使用		○			—
1993年4月2日	東京都	開放式小型湯沸器	PH-4S	○		無	①	CO中毒 (死亡者数不明)	製造年月より 推定、18年	赤外線ストーブとの併用による誤使用		○			—
1993年3月28日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F	○		無	③	CO中毒	約11年	製品が直接起因せず			○		詳細はこちら
1993年2月6日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合(排気筒トップが下向き に付けられており、排気筒も立ち上がりなし の状態)		○			—
1993年1月19日	埼玉県	ガスふろがま (給湯付き)	FH-1600MS		○	無	④	ボヤ	約5年	燃焼室焼損		○			詳細はこちら
1992年12月24日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○			—
1992年12月23日	福岡県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F	○		無	①	CO中毒 (1名死亡)	不明	特定できず			○		詳細はこちら
1992年11月7日	石川県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-12号A	○		無	③	8名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気筒の立ち上がり不足)		○			—
1992年11月6日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	①	3名CO中毒死亡	6年	排気設備の不具合 (湯沸し器の排気筒とレンジフードを結 合)		○			—

1992年7月7日	愛知県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-81M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気筒が無くファン付きダクトに設置され ていること及びファンが回っていない状態 で使用)	○		—
1992年4月4日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	①	CO中毒 (2名死亡)	約11年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1992年3月22日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	不明	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1992年2月12日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	約10年	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し 使用		○	詳細はこちら
1992年1月27日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	不明	換気不良及び安全装置作動後、繰り返し 使用		○	詳細はこちら
1992年1月19日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-1600CMF		○	無	③	CO中毒	不明	排気設備の不具合		○	—
1992年1月7日	神奈川県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F		○	無	③	CO中毒	約10年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1992年1月3日	奈良県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	①	CO中毒 (2名死亡)	約10年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1991年9月8日	長野県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-131F		○	無	①	CO中毒 (1名死亡)	約10年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1991年2月18日	秋田県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-6号F +PV-3G	○		無	①	CO中毒 (1名死亡)	不明	設置施工時の不具合 (配線間違い)		○	—
1990年12月27日	東京都	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CST		不明	無	④	ボヤ	不明	燃焼室焼損	○		詳細はこちら
1990年12月11日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-101F	○		無	①	CO中毒 (2名死亡)	約9年	改造による安全装置不作動		○	詳細はこちら
1990年7月27日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-24号A	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用		○	—
1990年4月27日	埼玉県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-16CS(10)		不明	無	④	半焼	不明	過熱防止器の取付位置間違い		○	詳細はこちら
1990年3月30日	北海道	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-12号A	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (排気筒未接続)		○	—
1989年9月10日	岐阜県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-12	○		無	①	2名CO中毒死亡	不明	排気設備の不具合 排気筒不良(口径縮小、風圧帯内、高さ不 足)		○	—
1989年4月29日	福岡県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	③	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (業用ダクト換気扇を使用しないで使用)		○	—
1989年4月26日	福岡県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-6号F	○		無	①、③	1名CO中毒死亡、 1名CO中毒	不明	排気設備の不具合 (2次排気筒が設置されていなかった)		○	—
1989年4月7日	北海道	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-81F		○	無	①	CO中毒 (2名死亡)	約7年	特定できず		○	詳細はこちら
1989年3月17日	広島県	瞬間形ガス湯沸器 (先止式)	PH-12号A +PV-5G	○		無	①	CO中毒 (2名死亡)	不明	排気設備の不具合		○	—
1989年3月8日	大分県	半密閉式CF型 ガス瞬間湯沸器	PH-101M	○		無	③	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用 (排気フードのスイッチを切って湯沸し器使 用)		○	—